



オーボエ

取扱説明書

Oboe

Owner's Manual

Oboe

Benutzerhandbuch

Hautbois

Mode d'emploi

Oboe

Manual de instrucciones

Oboé

Manual de instruções

双簧管

使用说明书

Гобой

Руководство пользователя

Oboe

사용설명서

雙簧管

使用說明書

日本語

English

Deutsch

Français

Español

Português

Русский

한국어

繁體中文

このたびは、ヤマハ管楽器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
楽器を正しく組み立て性能をフルに発揮させるため、また永く良い状態で楽器をお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

P.3

You are now the owner of a high quality musical instrument. Thank you for choosing Yamaha.
For instructions on the proper assembly of the instrument, and how to keep the instrument in optimum condition for as long as possible, we urge you to read this Owner's Manual thoroughly.

P.3

Sie sind nun der stolze Besitzer eines hochwertigen Musikinstruments. Vielen Dank, dass Sie sich für ein Instrument der Marke Yamaha entschieden haben. Um mit den Handgriffen zum Zusammensetzen und Zerlegen des Instruments vertraut zu werden und dieses über Jahre hinweg in optimalem Zustand halten zu können, raten wir Ihnen, diese Anleitung aufmerksam durchzulesen.

P.3

Vous êtes dès à présent le propriétaire d'un instrument de musique de haute qualité.
Nous vous remercions d'avoir choisi Yamaha. En ce qui concerne les instructions relatives à un assemblage adéquat de l'instrument et sur la façon de garder l'instrument dans des conditions optimales aussi longtemps que possible, nous vous conseillons vivement de lire entièrement le présent Mode d'emploi.

P.3

Usted es ahora propietario de un instrumento musical de alta calidad. Le agradecemos su elección de un instrumento Yamaha. Le aconsejamos que lea todo este manual de instrucciones para ver las instrucciones para el montaje correcto del instrumento y para aprender a conservar el instrumento en óptimas condiciones durante tanto tiempo como sea posible.

P.3

Agora você é o proprietário de um instrumento musical de alta qualidade. Obrigado por escolher a marca Yamaha. Aconselhamos que leia cuidadosamente todo o manual do proprietário para ver as instruções de montagem adequada do instrumento, bem como manter em ótimas condições de uso pelo máximo de tempo possível.

P.3

现在您已经是高品质乐器的主人了！在此，我们衷心感谢您选择雅马哈乐器，同时也恳请您完整阅读该使用说明书，从而可以充分了解有关乐器正确组装及如何使您的乐器尽可能长久地处于最佳状况的使用说明。

P.3

Вы стали обладателем высококачественного музыкального инструмента. Благодарим Вас за выбор продукции Yamaha. Для получения инструкций по правильной сборке данного инструмента и его длительном хранении в оптимальных условиях мы настоятельно рекомендуем Вам внимательно прочитать настоящее руководство.

P.3

야마하 악기를 구입해 주셔서 감사합니다. 악기의 알맞은 조립 방법 및 보관을 위해 본 사용설명서를 반드시 읽어주시기 바랍니다.

P.3

您現在擁有高品質的樂器。感謝您選擇 Yamaha。
我們強烈建議您完整閱讀本使用說明書，以便了解如何正確組裝樂器，並且使樂器盡可能長時間保持在最佳狀態。

P.3

オーボエ

取扱説明書

安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願ひいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

⚠ 「ご注意ください」という注意喚起を示します。

🚫 「～しないでください」という禁止行為を示します。



注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定されます。

🚫 楽器を人に向かって投げたり、振り回したりしないでください。

相手の身体に当たるなどして危険です。楽器はいつもやさしく扱ってください。

⚠ オイルやポリッシュ類を乳幼児が口にしないよう、十分ご注意ください。

乳幼児の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは乳幼児のいない所で行うなど、オイルやポリッシュ類の管理にはご注意ください。

🚫 小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

⚠ 楽器のお手入れの際など、針バネに直接触れないようにご注意ください。

高級モデルの針バネは、優れたキイタッチを得るために先端部が尖っています。

ご注意

- 温度・湿度などの環境に注意してください。楽器をストーブなどの火気に近付けないでください。また、温度・湿度の異常な環境でのご使用や保管も避けてください。キの連絡バランスやタンポの合い具合が悪くなり、演奏に支障をきたすおそれがあります。
- ラッカーアー仕上げの製品のお手入れには、ベンジンやシンナーは使用しないでください。表面の仕上げを損なう場合があります。
- 変形にご注意ください。不安定な場所に置いた場合、落下や転倒により変形するおそれがあります。置き場所には十分注意してください。
- 改造しないでください。保証の対象外となり、修理ができなくなるおそれがあります。

メッキ仕上げの管楽器は、メッキの性質上、時間が経過すると表面が変色する場合がありますが、演奏には何ら支障はありません。なお、初期の変色部分はお手入れによって簡単にきれいになります。(変色の進行したものは、きれいにならない場合があります。)

* お手入れ用品は、それぞれのメッキの種類に合った専用のものをお使いください。またポリッシュは表面を磨き取るものですので、メッキが薄くなることがあります。あらかじめご了承ください。

音のエチケット

美しい演奏は人にさわやかな感じを与えますが、練習中の音は時には気になる人もいらっしゃいます。ご近所の迷惑にならないように気を配りましょう。

木製管体に関するご注意

ヤマハオーボエは管体の材質に天然の木（グラナディラなど）を用いています。そのため、金属やプラスチックに比べて温度変化や乾湿の影響を受けやすい性質をもっています。とくに急激な温度、湿度の変化があると木部が微妙に変化し、管体にひび割れを起こしたり、キーの作動不良を起こすことがあります。また、オーボエは管体の肉厚が厚く、他の木管楽器よりもデリケートですので、取り扱いには充分ご注意ください。

- 冬は手で楽器を充分に温めるなどして、楽器全体が室温に慣れてから、吹奏をはじめてください。息を吹き込んで管内を温めることは絶対にしないでください。そうされると管体に急激な温度変化をもたらし、管体がひび割れするなど損傷する場合があります。
- 使い始めの1～2ヶ月は長時間演奏せず、徐々に吹き込んでください。最初の1週間は1日に20～30分の使用にとどめ、その後は1日につき10分くらいずつ延ばして行ってください。
- ご使用のあとは、必ず付属のクリーニングスワブで管内の水分や汚れを充分拭き取ってください。

オーボエは大変デリケートな楽器です。次のような使い方は、管体を傷める原因になりますので避けてください。

- 直射日光の下での長時間演奏や保管
- 雨の中や湿気の多い場所での演奏や保管
- ストーブやファンヒーターなど、火気の近くでの演奏や保管
- クーラーなどの冷風が直接当たる場所での演奏や保管

楽器を良い状態で長時間維持するために、次の事項に充分配慮してください。

- ご使用のあとは、必ず付属のクリーニングスワブで管内の水分や汚れを充分拭き取ってください。→P.7「演奏後のお手入れ」
- 一時的に楽器を置く場合は、クリーニングスワブで水分や汚れを充分拭き取り、安定した場所にキーを上向きにして寝かしてください。→P.10「オーボエの保管上のご注意」
- 演奏終了後は必ずケースに入れて保管してください。保管場所は高温多湿の場所は避けしてください。
- ケース内に濡れたガーゼやクロスなどを絶対に入れないでください。

各部の名称

セミ・オートマティック



フル・オートマティック



同梱品

- ポリシングクロス
- クリーニングスワブ（上・下管用）
- コルクグリス
- リードケース（カスタムモデルのみ付属）
- ドライバー（一部モデルのみ付属）
- 六角レンチ（一部モデルのみ付属）

オーボエの組み立てとチューニング

組み立て前に（必ずお守りください）

オーボエは天然の木材と精密な金属パーツからできています。組み立ての際はキイに無理な力が掛からないよう持ち方にご注意ください。

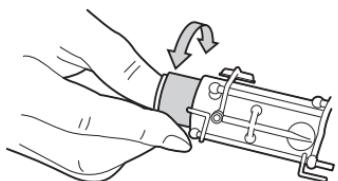
キイに無理な力が掛かってキイが曲がると楽器の調整がくずれてしましますので充分ご注意ください。

新しく最初に組み立てる場合、ジョイントが固いことがあります。その場合、付属のコルクグリスを塗って差し込みます。それでも固い場合は受け側部にもコルクグリスを軽く塗ってください。その際、多く塗りすぎないようにご注意ください。

■ オーボエの組み立て

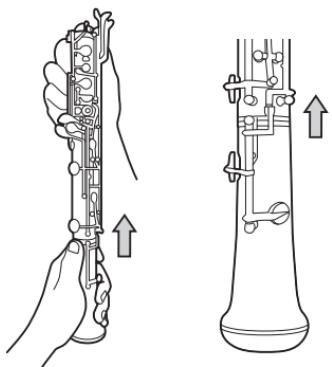
1. コルクグリスの塗布

組み立て前にコルクグリスをジョイントコルクおよびリードチューブの下部全周に薄く塗ってください。



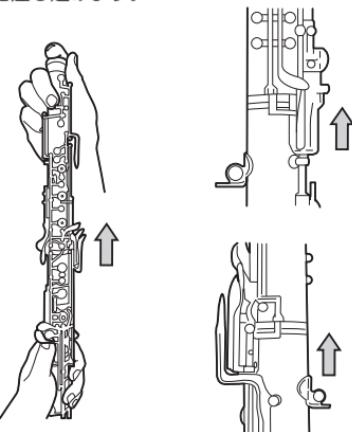
2. 下管とベルの組み立て

ベルを左手に持ち、連絡キイを曲げないよう下管とベルの連絡キイの位置を確認して下管に差し込みます。



3. 上管と下管の組み立て

下管を左手に持ち、連絡キイを曲げないように連絡キイの位置を確認して上管に下管を差し込みます。



■ チューニング

リードチューブの長さやタイプ、リードの全長や幅、スクレーブやガウジング等のスタイルによってオーボエのピッチは変化します。チューニングが合わない場合はこれらを調整してください。また、管楽器のピッチは気温や管内の温度によって微妙に変化しますので、吹奏前には管体を室温に慣らしたり、手で管体を温めたりして充分管体を温めてください。

可動式指掛けの調整と楽器のお手入れ

■ 可動式指掛けの調整

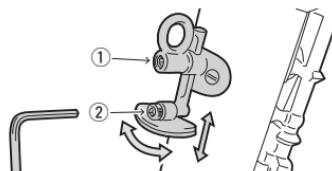
(可動式指掛けが付いている楽器のみ)

上下位置に加え、指の形に沿うように傾斜角度の調整が可能です。

● 調整方法

付属している六角棒レンチ (1.5mm) を使用してネジをゆるめ、指掛けを適切な位置に調整します。下図①で指掛けの上下位置、②で傾斜角度の調整をすることができます。

* 紛失の原因になるので、留めネジは取り外さないでください。



■ 演奏中のご注意

- 演奏一時休止中にトーンホール面を下にして机等に置いたり、トーンホール面を斜め下に向けて立て掛けたりしないように習慣づけてください。そうすることにより、演奏中にトーンホールから水滴が吹き出すことが防げ、管体のひび割れを防ぐことにもなります。
- 席を離れる際は他人が過って楽器を転倒しないよう、たとえ短時間でも楽器をケースに収納するように心掛けましょう。

■ 演奏後のお手入れ

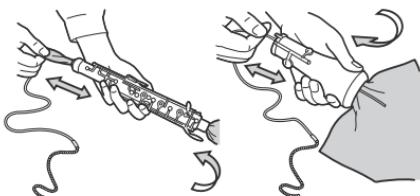
演奏後は必ず以下の手入れを行ってください。

オーボエの分解時の注意

演奏終了後など、組み立てたオーボエを上管、下管、ベルに分解するときはパートに顔を近付けたり、人に向けた状態では行わないでください。思いがけずパートが外れてケガをするおそれがあります。

● リードチューブを外し、ガーゼ等で水分を拭き取りリードケースに保管してください。

● 付属のクリーニングスワブで管内の水分を必ず拭き取ってください。管内の内側に水分が残っているとひび割れを起こすことがありますので注意ください。

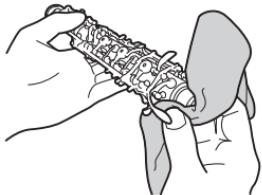


ご注意

このスワブはベル側から入れ、抜ききらずにベル側に戻すように作られています。スワブの抵抗が強くなったらベル側に引き戻してください。無理に引っ張ると管内に詰まるおそれがあります。

可動式指掛けの調整と楽器のお手入れ

- 管体のジョイント部は特に水が溜りやすく、この部分からひび割れを起こすおそれがあります。ガーゼ等で充分水分を拭き取ってください。

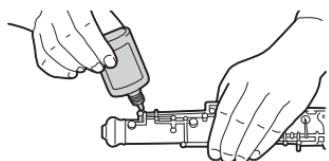


* 演奏の合間にもできるだけ管体内の水分を拭き取るように心掛けてください。

- クリーニングスワップは常に清潔に乾燥させておいてください。
- 月に1～2回くらいはポリシングクロスで管体の表面を拭いてください。キイなどのパーツを傷つけないようご注意ください。

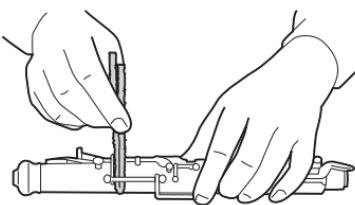


- キイの動きが悪いときは、キイの動く部分に専用のキイオイルを塗布してください。差し終ったらオイルが良好なじむようにキイを動かしてください。キイオイルは付け過ぎないようご注意ください。またオイルがはみだした場合は完全に拭き取ってください。

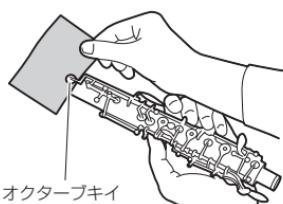


* キイオイルは付けすぎないでください。
* 塗布する場所がわからない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

- トーンホールの内側やキイの裏側の汚れは、トーンホールクリーナーで取り除いてください。その際、バネやタンポなどを傷めないようご注意ください。



- タンポの汚れや水分はクリーニングペーパーで取り除いてください。特にオクターブ音孔には水分が溜りやすいのでなるべく頻繁に取り除いてください。



ご注意

キイを閉じたままクリーニングペーパーを引き抜かないでください。クリーニングペーパーがやぶれて紙片が残り、楽器の調整が狂うことがあります。



故障かな？と思ったら

以下の症状がみられる場合には、楽器本体に何らかの問題が考えられます。
お買い上げ店またはご相談センターまでお問い合わせください。

音抜け、音程が悪くなった

- ▶ タンポ部分が変形している
- ▶ 管体がひび割れている

キイの動きが鈍い、あるいは動かない

- ▶ バネが外れている
- ▶ キイが変形している
- ▶ キイオイルの塗布が足りない、または塗布しすぎている

ジョイント部分がきつくて / ゆるくて組み立てられない

- ▶ 過度の温度 / 温度変化によりジョイントコルクが収縮 / 膨張している
- ▶ ジョイントコルクが磨耗している

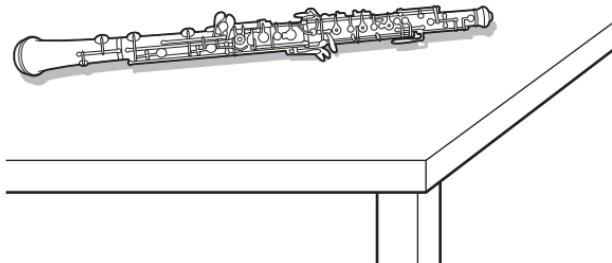
キイを動かすと雑音ができる

- ▶ キイ部分のオイルが切れている
- ▶ ネジがゆるんでいる
- ▶ コルクやフェルトが磨耗、外れている
- ▶ キイと管体またはキイ同士が接触している

オーボエの保管上のご注意

- 組み立てた状態でトーンホールを下に向けて置かないでください。

正しい置き方



- オーボエは管楽器の中でももっとも複雑な構造を持った楽器です。僅かな温度・湿度の変化やちょっとした外圧でキイやタンポのバランスが狂ったり、キイのタッチが変化します。2~3ヶ月に一度は楽器店へ調整を依頼されることをお勧めします。
- ケースの中にキイを圧迫するようなものは入れないでください。
- 強い力を楽器やケースに加えないでください。
- 楽器を使わないときはケースおよびケースカバーに納めてください。なお、温度や湿度の変化から保護するためにできるだけケースをカバンなどに入れて保管されることをお勧めします。
- クーラーあるいはストーブなどの冷暖房器具のそばに近づけないでください。



オーボエ用お手入れ用品/アクセサリーについて

品名	特徴・使用方法
シルバークロス	銀や銀メッキの楽器表面の変色や汚れを取り、きめ細かな美しい光沢をもたらします。
ポリシングクロス	楽器の表面の艶出しに適した、柔らかくきめ細かいクロスです。
サムレストクッション	オーボエの指掛けに差し込んで使います。右親指の痛みを和らげ、手の小さな人もキイ操作が容易になります。
ポリシングガーゼ	楽器表面や内面のクリーニングに最適。各種ポリッシュとともに使用することもできます。
クリーニングペーパー	タンポとトーンホールの間にはさみ、キイを開閉させることによって、水分、油分を吸収します。タンポの寿命を延ばします。
コルクグリス	ジョイント部の動きをスムーズにし、管の気密を保ちます。コルク部の汚れをよく拭き取り、コルクにグリスを薄く塗り、ジョイントさせてグリスを馴染ませてください。
キイオイル	キイポストと鍵管の間や鍵管の内面に使い、錆や磨耗を防ぎます。
トーンホールクリーナー	トーンホールやキイの細部の汚れを取るときに最適です。
クリーニングスワブ (オーボエ用)	吸水性がよく、管体内面の水分や汚れをきれいに取ります。
シルバーポリッシュ	銀あるいは銀メッキ仕上げの楽器表面の変色や汚れを取るときに使います。ポリシングガーゼやポリシングクロスに染み込ませて磨いてください。
ボアオイル	木製楽器の水分による変形やひび割れを防ぐオイルです。管内面の水分やよごれをよく拭きとり、クリーニングスワブ等にオイルをごく少量しみこませ、管内に塗ります。

※お手入れ用品 / アクセサリーの仕様は予告なく変更されることがあります。

セミ・オートマティック・キイの運指表 / Fingering chart for semi-automatic keys / Tableau de doigté pour mécanisme semi-automatiques / Tabla de distribución Tabela de digitação para chaves semi-automáticas / 半自動音键的指法图 / 세미 오토매틱 키의 운지표 / 半自動按鍵指法表



A 左手

Left hand
Linke Hand
Main gauche
Mano izquierda
Mão esquerda
左手
Левая рука
왼손
左手



B 右手

Right hand
Rechte Hand
Main droite
Mano derecha
Mão direita
右手
Правая рука
오른손
右手

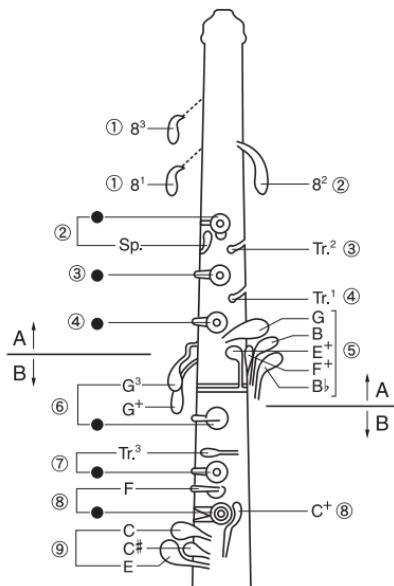
- 閉じる Close Geschlossen Fermé Cerrar Fechado 闭口 Закрыто 닫는다 闭孔
- 開く Open Offen Ouvert Abrir Aberto 开口 Открыто 연다 開孔

- ◎ ハーフホール Half hole Halbe Öffnung Demi-trou Orificio medio Meio buraco 半孔 Половинка Половина buraco 半孔

◎ 左手人差し指のオープニングキー

Left index finger open key
Klappe des linken Zeigefingers offen
Clé ouverte de l'index gauche
Llave de abertura con el dedo índice izquierdo
Indicador esquierdo abre a chave

左食指开口键
Открытая клавиша для левого указательного пальца
왼쪽 검지 손가락의 오픈 키
左手食指開口键



G, G⁺, G³ は G♯ の音のキイ。E, E⁺ は E♭ の音のキイ。8¹ は第1オクターブ・キイ、8² は第2オクターブ・キイ、8³ は第3オクターブ・キイ。Sp. はスパチュラ・キイを意味する。

G, G⁺, and G³ are G# keys. E and E+ are E♭ keys. 81 is the first octave key. 82 is the second octave key. 83 is the third octave key. Sp. is a spatula key.

G, G⁺ und G³ sind Gis-Klappen. E und E+ sind E♭ -Klappen. 81

ist die erste, 82 die zweite und 83 die dritte Oktavklappe. Sp. ist eine Hifsklappe.

G, G⁺ et G³ sont des clés Sol#. E et E+ sont des clés Mi♭. 81

est la clé de première octave. 82 est la clé de deuxième octave.

83 est la clé de troisième octave. Sp. est une spatule.

G, G⁺, e G³ son llaves G#. E y E+ son llaves E♭, 81 es la primera llave de octava. 82 es la segunda llave de octava. 83 es la tercera llave de octava. Sp. es una llave de espátula.

G, G⁺, e G³ são chaves de sol sustenido. E e E+ são chaves de mí bemol. 81 é a primeira chave de oitava. 82 é a segunda chave de oitava. 83 é a terceira chave de oitava. Sp. é a chave de espátula.

G, G⁺ 和 G³ 属于 G# 音键。E 和 E+ 属于 E♭ 音键。81 是第一个八度键。82 是第二个八度音键。83 是第三个八度音键。Sp. 是一个调音键。

G, G⁺ и G³ являются клавишами G#. E и E+ являются клавишами E♭. 81 – клавиша первой октавы. 82 – клавиша второй октавы. 83 – клавиша третьей октавы. Sp. – лан-цетная клавиша.

G, G⁺, G³은 G#음의 키. E, E+은 E♭음의 키. 81은 제1 옥타브 키, 82는 제2 옥타브 키, 83은 제3 옥타브 키. Sp.는 스파추라 키를 의미합니다.

G、G⁺ 和 G³ 属於 G# 音键。E 和 E+ 屬於 E♭ 音键。81 是第一個八度音键。82 是第二個八度音键。83 是第三個八度音键。Sp. 是調音键。

Griffabelle für halbautomatische klappen /
 de los dedos para llaves semi-automáticas /
 Схема аппликатуры для полуавтоматической клавиатуры /

Fingering chart for the first half of the keyboard (leftmost 12 keys). The chart uses a treble clef staff with 12 columns of dots representing fingerings. Labels below the staff identify specific notes and chords:

- Row 1:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 2:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 3:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 4:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 5:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 6:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 7:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 8:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 9:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 10:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 11:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.
- Row 12:** B-flat, C, D, E, F, G, A, B, C-sharp, D-sharp, E-sharp, F-sharp.

Labels below the staff:

- Row 1:** B
- Row 2:** E+, F+
- Row 3:** G
- Row 4:** G³, G+
- Row 5:** F
- Row 6:** C+, C
- Row 7:** C, C
- Row 8:** C[#]
- Row 9:** E
- Row 10:** G[#]
- Row 11:** & A
- Row 12:** & B

Labels at the bottom:

- Row 1:** \widehat{C} & \widehat{D}^{\flat}
- Row 2:** \widehat{C} & \widehat{D}
- Row 3:** \widehat{A}^{\flat} & \widehat{B}^{\flat}
- Row 4:** \widehat{A}^{\sharp} & \widehat{B}

Fingering chart for the second half of the keyboard (rightmost 12 keys). The chart uses a treble clef staff with 12 columns of dots representing fingerings. Labels below the staff identify specific notes and chords:

- Row 1:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 2:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 3:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 4:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 5:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 6:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 7:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 8:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 9:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 10:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 11:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.
- Row 12:** G, A, B, C, D, E, F, G, A, B, C, D.

Labels below the staff:

- Row 1:** Tr.1, Tr.1
- Row 2:** Tr.2
- Row 3:** Tr.3
- Row 4:** E+
- Row 5:** F+
- Row 6:** G
- Row 7:** G³, G+
- Row 8:** F
- Row 9:** C[#]
- Row 10:** E
- Row 11:** G[#]
- Row 12:** & A

Labels at the bottom:

- Row 1:** \widehat{B} & \widehat{C}
- Row 2:** \widehat{C} & \widehat{D}
- Row 3:** \widehat{B}^{\flat} & \widehat{A}^{\flat}
- Row 4:** \widehat{B}^{\sharp} & \widehat{A}^{\flat}

セミ・オートマティック・キイの運指表 / Fingering chart for semi-automatic keys / Griffabelle für halbautomatische Klappen / Tableau de doigté pour mécanisme semi-automatiques / Tabla de distribución de los dedos para llaves semi-automáticas / Tabela de digitação para chaves semi-automáticas / 半自动音键的指法图 / Схема аппликатуры для полуавтоматической клавиатуры / 세미 오토메틱 키의 운지표 / 半自動按鍵指法表

*a: ここより 8³の無い場合は、8¹を使用する。

If there is no 8³, 8¹ will be used.

Wenn 8³ fehlt, wird 8¹ verwendet.

Si 8³ n'existe pas 8¹ est utilisé.

Si no existe una 8³, la 8¹ se utilizará.

Se não houver 8³, 8¹ deve ser usado.

如果没有 8³，则使用 8¹。

Если отсутствует клавиша 8³, можно использовать клавишу 8¹.

여기부터는 8³이 없는 경우에는 8¹을 사용합니다.

如果沒有 8³，則使用 8¹。

フル・オートマティック・キイの運指表 / Fingering chart for full-automatic keys / Griffabelle für Vollautomatische Klappen / Tableau de doigté pour mécanisme automatique / Tabla de distribución de los dedos para llaves automáticas / Tabela de digitação para chaves automáticas / 全自動音键的指法图 / Схема аппликатуры для полностью автоматической клавиатуры / 풀 오토매틱 키의 운지표 / 全自動按鍵指法表



A 左手
Left hand
Linke Hand
Main gauche
Mano izquierda
Mão esquerda
左手
Левая рука
왼손
左手



B 右手
Right hand
Rechte Hand
Main droite
Mano derecha
Mão direita
右手
Правая рука
오른손
右手

- 閉じる
Close
Geschlossen
Fermé
Cerrar
Fechado
闭口
Закрыто
닫는다
閉孔

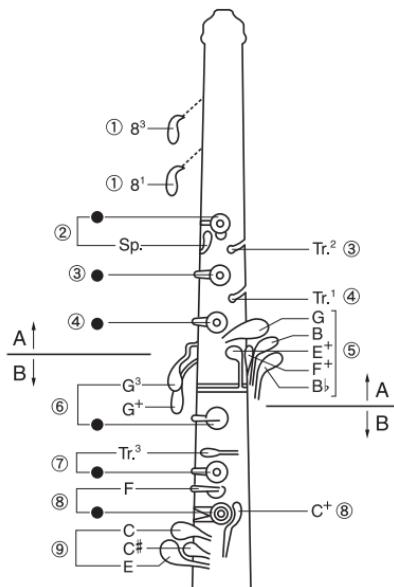
- 開く
Open
Offen
Ouvert
Abrir
Aberto
开口
Открыто
연다
開孔

- ◎ ハーフホール
Half hole
Halbe Öffnung
Demi-trou
Orificio medio
Meio buraco
半孔
Полупоткрыто
하프홀
半孔

◎ 左手人差し指のオープンキイ

Left index finger open key
Klappe des linken Zeigefingers offen
Clé ouverte de l'index gauche
Llave de abertura con el dedo índice izquierdo
Indicador esquierdo abre a chave

左食指开口键
Открытая клавиша для левого указательного пальца
왼쪽 검지 손가락의 오픈 키
左手食指開口鍵



G, G⁺, G³はG♯の音のキイ。E, E⁺はE♭の音のキイ。8¹は第1オクターブ・キイ、8²は第2オクターブ・キイ、8³は第3オクターブ・キイ。Sp.はスパチュラ・キイを意味する。

G, G⁺, and G³ are G[#] keys. E and E⁺ are E[♭] keys. 8¹ is the first octave key. 8² is the second octave key. 8³ is the third octave key. Sp. is a spatula key.

G, G⁺ und G³ sind Gis-Klappen. E und E⁺ sind E[♭]-Klappen. 8¹

ist die erste, 8² die zweite und 8³ die dritte Oktavklappe. Sp. ist eine Klatschklappe.

G, G⁺ et G³ sont des clés Sol[#]. E et E⁺ sont des clés Mi[♭]. 8¹ est la clé de première octave. 8² est la clé de deuxième octave. 8³ est la clé de troisième octave. Sp. est une spatule.

G, G⁺, and G³ son llaves G[#]. E y E⁺ son llaves E[♭]. 8¹ es la primera llave de octava. 8² es la segunda llave de octava. 8³ es la tercera llave de octava. Sp. es una llave de espátula.

G, G⁺, e G³ são chaves de sol sustenido. E e E⁺ são chaves de mí bemol. 8¹ é a primeira chave de oitava. 8² é a segunda chave de oitava. 8³ é a terceira chave de oitava. Sp. é a chave de espátula.

G, G⁺ 和 G³ 属于 G[#] 音键。E 和 E⁺ 属于 E[♭] 音键。8¹ 是第一个八度键。8² 是第二个八度音键。8³ 是第三个八度音键。Sp. 是一个调音键。

G, G⁺ и G³ являются клавишами G[#]. E и E⁺ являются клавишами E[♭]. 8¹ – клавиша первой октавы. 8² – клавиша второй октавы. 8³ – клавиша третьей октавы. Sp. – лан-цетная клавиша.

G, G⁺, G³은 G[#]음의 키. E, E⁺은 E[♭]음의 키. 8¹은 제1 옥타브 키, 8²는 제2 옥타브 키, 8³은 제3 옥타브 키. Sp.는 스파チュ라 키를 의미합니다.

G、G⁺和G³屬於G[#]音鍵。E和E⁺屬於E[♭]音鍵。8¹是第一個八度音鍵。8²是第二個八度音鍵。8³是第三個八度音鍵。Sp.是調音鍵。

フル・オートマティック・キイの運指表 / Fingering chart for full-automatic keys /

Griffabelle für Vollautomatische Klappen / Tableau de doigté pour mécanisme automatique /

Tabla de distribución de los dedos para llaves automáticas / Tabela de digitação para chaves

automáticas / 全自動音键的指法图 / Схема аппликатуры для полностью автоматической

клавиатуры / 풀 오토메틱 키의 운지표 / 全自動按鍵指法表

This chart shows fingerings for various notes across the keyboard. The top row shows fingerings for notes starting with \flat and \sharp . The middle section shows fingerings for notes from $B\flat$ to G^3 , with specific labels for $B\flat$, $E+$, $F+$, F , $C+$, C , C^\sharp , E , G , G^3 , $G+$, $Sp.$, and G . The bottom section shows fingerings for notes from C^\sharp to \flat , with specific labels for C^\sharp , E , F , G , G^3 , $G+$, $Sp.$, and G . Fingerings are indicated by dots and circles on the keys.

This chart shows fingerings for various notes across the keyboard. The top section shows fingerings for notes from \sharp to \flat , with specific labels for $Tr.2$, $Tr.1$, $Tr.1$, $E+$, $F+$, F , C^\sharp , and E . The middle section shows fingerings for notes from \sharp to \flat , with specific labels for $Tr.3$, $E+$, $F+$, F , G , G^3 , $G+$, $Sp.$, and G . The bottom section shows fingerings for notes from \sharp to \flat , with specific labels for E , G^3 , $G+$, and \flat . Fingerings are indicated by dots and circles on the keys.

フル・オートマティック・キイの運指表 / Fingering chart for full-automatic keys /

Griffabelle für Vollautomatische Klappen / Tableau de doigté pour mécanisme automatique /

Tabla de distribución de los dedos para llaves automáticas / Tabela de digitação para chaves

automáticas / 全自動音键的指法图 / Схема аппликатуры для полностью автоматической

клавиатуры / 풀 오토메틱 키의 운지표 / 全自動按鍵指法表

	\natural	\flat	$\sharp\flat$	$\sharp\sharp\flat$	$\sharp\flat\flat$	$\sharp\sharp\sharp\flat$	$\sharp\sharp\sharp\sharp\flat$	$\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\flat$	$\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\flat$	$\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\flat$	$\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\sharp\flat$
	8 ¹	8 ¹ 8 ¹	8 ¹ 8 ¹	8 ¹ 8 ¹		8 ³ 8 ³	8 ³ 8 ³	8 ³ 8 ³	8 ³ 8 ³	8 ³ 8 ³	8 ³
●	● ●	◎ ◎ ●	◎ ● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	● ●	● ●	● ●	● ●	◎
○	○ ○	● ○ ○	● ○ ○	Tr. ²	● ●	● ●	● ●	● ○	○ ○	○ ○	○
○	○ ○	● ○ ○	● ○ ○	G	G G	G G	○ ○	○ ○	● ○ G	● ○	●
○	● ○	● ● ○	○ ● ●	B	E+	E+				B B	B
○	○ ●	○ ○ ○	○ ○ ○	Tr. ³	○ ○	○ ○	○ ○	● ○	● ●	○ ○	G+ ○
○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	C	○ ●	● ●	● ●	○ ●	○ ○	● ○	○
				C	C	E	E	E		C	E
	\widehat{C} & D^\flat	\widehat{B} & C^\sharp	\widehat{C} & D	\widehat{C} & D	*c				*c		*c

*b : Low B-C 連結が有効な時は C キー省略可能。

When Low B-C is linked, C key is unnecessary.

Wenn die tiefen H-C-Klappen miteinander verbunden sind, ist C nicht notwendig.

Lorsque les B-C graves sont liés, le Do est inutile.

Cuando los B-C bajos están enlazados, no es necesaria la tecla C.

Quando B-C graves estiverem conectado, o chave C é desnecessária.

当连接了低音 B-C 调时，无需使用 C 键。

Если нижние клавиши B-C связаны, клавиша C не нужна。

Low B-C연결이 유효한 경우에는 C키 생략 가능

接連低音 B-C 調時，則可省略 C 音鍵。

*c : Low B-C 連結が有効な時は使用不可。

When Low B-C is linked, this fingering is not possible.

Wenn die tiefen H-C-Klappen miteinander verbunden sind, ist dieser Griff unmöglich.

Lorsque les B-C graves sont liés, ce doigté est impossible.

Cuando los B-C bajos están enlazados, no es posible la digitación.

Quando B-C estiverem conectado, não é possível esta digitação.

当连接了低音 B-C 调时，该指法不可用。

Если нижние клавиши B-C связаны, такая аппликатура невозможна。

Low B-C연결이 유효한 경우에는 사용 불가

接連低音 B-C 調時，此指法不可用。



ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

Manual Development Group
© 2013 Yamaha Corporation
Published 05/2022
2022年5月发行
POCP-B0

VDE1640